耐震設計事業計画書

(書式Ｃ1)

**赤文字部分を各々の事業に合わせて変更して下さい**

株式会社○○構造設計事務所

代表取締役　耐震　二郎

一級　北海道知事登録（石）第000号

１．一般事項

（１）この事業計画書は○○ビル耐震設計に適用する。

（２）本事業の実施に当たってはこの事業計画書に従う。

２．建築物概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (１) | 建築物名称 | ○○ビル |
| (２) | 所　在　地 | 札幌市中央区北１条西２丁目１番地 |
| (３) | 用　　途 | 店舗 |
| (４) | 棟　　数 | １棟 |
| (５) | 確認年月日 | 昭和00年00月00日 |
| (６) | 構造種別 | ＲＣ造 |
| (７) | 規　　模 | 地上10階　地下２階　塔屋２階 |
| (８) | 延べ面積 | 10,000.00㎡ |
| (９) | 構造特記事項 | なし |

３．耐震設計実施者に関する情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (１) | 耐震設計実施者 | 耐震　三郎 |
| (２) | 資　　格 | 一級建築士　建設大臣登録第000号 |
| (３) | 登録資格者講習の種類 | ＲＣ造 |
| (４) | 登録資格者講習修了番号 | RC000 |
| (５) | 登録資格者講習修了年月日 | 平成25年00月00日 |
| (６) | 札幌市耐震診断員登録番号 | 第000号　※耐震診断員でなければ空欄 |

４．事業の内容

（１）図面等及び現地調査

建築物の所要事項を確認し、以下の耐震設計に必要な事項の調査等を行う。

・構造部材の詳細納まりの状態

・補強部材の取り付け・配置に伴う建物の利用状況と機能への影響

・補強部材の取り付けに伴う既存仕上げ部材等の処置方法

・補強部材の取り付けに伴う設備機器や隠ぺい配管の状況と障害の把握

・建物の耐震補強工事に伴う仮設計画に伴う事項

（２）耐震設計構造計算及び耐震改修図面の作成

補強方法を計画し、耐震設計の基準に従った耐震設計構造計算を行い、耐震改修図面（構造図、意匠図、設備図）を作成する。

（３）耐震設計の基準

耐震設計に当たっては以下に○の付いた基準により設計を行う。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 平成18年国土交通省告示第184号「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針」（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項　第２　建築物の耐震改修の指針 |
|  | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震設計指針」 |
| ○ | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針」 |
|  | 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針」 |

（４）耐震設計報告書等の作成と提出

建築物の耐震設計結果報告書を作成して、委託者に提出する。

（５）耐震評定委員会（公的判定機関）による耐震改修計画評定書交付と受理

耐震評定委員会へ耐震改修計画評定説明書を添えて、評定の申し込みを行い、耐震改修計画評定書の交付を受ける。

（６）耐震設計内容及び耐震性能の説明

耐震設計内容と耐震性能について、委託者へその概要を簡潔明瞭に分かり易く説明し、質疑に対しては誠実に対応する。

５．事業の期間

契約書に示す委託契約締結の日から事業完了日までとする。

６．成果品

本事業の成果品は次のうち以下に○の付いたものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| ○ | 耐震設計報告書 |
| ○ | 耐震改修図面 |
| ○ | 耐震改修計画評定書（耐震評定委員会から交付を受けたもの） |
|  | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |